

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 腎移植診療の治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学病院泌尿器科にて1979年11月～2029年3月の間に腎移植（生体腎移植・献腎移植）を施行した患者を対象とします。現時点では総数400名程度と想定されています</p> <p>●研究の目的 2015年末の透析患者数は324,986人で依然として年々増加し、献腎移植希望登録数は2015年末で12,825人となっていますが、一方2015年の腎移植数は1,661例であります。提供者が少ないため献腎移植数が少なく、2015年は待機者12,825人に対して167例の献腎移植が施行されたのみであり、また2015年に献腎移植を受けた方の平均待機日数は4,619日(12.7年)と長期間となっています。このことは、移植希望患者の高齢者の割合が増加すること・動脈硬化など併存症が増加してゆくこととなり大きな問題であります。</p> <p>生体腎移植、献腎移植のいずれにおいても、生存率・生着率は年代とともに上昇し、特に2001年以降では腎移植全国調査では2010～2014年では生体腎移植1年生着率99.1%、5年生着率97.2%まで上昇しています。これは免疫抑制剤の進歩によるところが大きいのですが、さらなる成績向上は望まれるとともに、過剰免疫抑制による感染症の問題・長期生着例での発癌患者の増加などの問題は依然として残されています。</p> <p>浜松医科大学泌尿器科では1979年11月から腎移植を開始し、現在に至るまで生体腎移植・献腎移植あわせ300例以上を施行し、良好な成績を得ています。今回われわれは、これら腎移植診療の疑問解決への一助となる実臨床データ解析のため、当院における腎移植の診断治療成績と予後解析に関しその背景因子の関連について後方視的に検討することを計画しました</p> <p>●研究の期間</p>
-----------------------------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>倫理委員会承認後より令和 11 年(2029 年) 3 月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等を診療録より収集いたします</p>
利用する者の範囲	<p>●共同研究機関の名称及び研究責任者 該当なし</p>
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	<p>●研究責任者 浜松医科大学 医学部泌尿器科学講座 本山大輔</p>
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくは Fax でお願いします。</p>
資料の入手または閲覧	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
情報の開示	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：泌尿器科 担当者：本山大輔 TEL：053-435-2306（平日 9:00~16:00） FAX：053-435-2305</p>